

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター

宮崎県健康増進課

宮崎県衛生環境研究所

■ 宮崎県第27週の発生動向

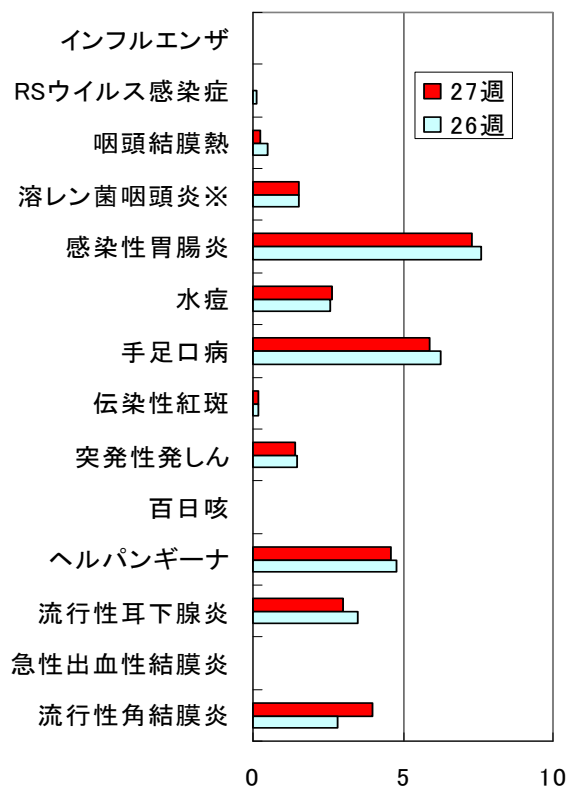
定点医療機関からの報告総数は 993 人（定点あたり 30.9）で、前週比 98% とほぼ横ばいであった。

例年に比べ多かった主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎であった。

手足口病の報告数は 211 人（5.9）で前週比 94% であった。例年同時期の定点あたり平均値（3.5）の約 1.7 倍と多い。日南（16.7）、日向（11.5）、都城（8.7）保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 6 割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は 109 人（3.0）で前週比 87% と減少した。例年同時期の定点あたり平均値（1.8）の約 1.6 倍と多い。日向（16.3）、延岡（7.0）保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では 3 歳から 5 歳で全体の約半数を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
手足口病	5	5.9	日南(16.7)、日向(11.5)、 都城(8.7)	1歳～3歳で全体の約6割を占めた。
ヘルパンギーナ	6	4.6	日南(10.3)、延岡(7.8)	1歳～4歳で全体の約8割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	3	日向(16.3)、延岡(7.0)	3歳～5歳で全体の約半数を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 7 例が宮崎市 (3 例)、延岡 (2 例)、日南・高鍋 (各 1 例) 保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・70 歳代の女性でその他の結核 (右乳房)。咳、痰、発熱がみられた。
・40 歳代の男性で疑似症患者。咳、痰がみられた。
・90 歳代の男性で肺結核。咳、痰がみられた。
《延岡保健所》・70 歳代の男性で結核性胸膜炎。
・30 歳代の女性で無症状病原体保有者。
《日南保健所》・30 歳代の女性で疑似症患者。咳、発熱、胸痛、呼吸困難がみられた。
《高鍋保健所》・70 歳代の女性で肺結核。咳、痰がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が高鍋保健所から報告された。3 ヶ月の女児で血便がみられた。原因菌の血清型は O26 (VT1 産生)。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : クロイツフェルト・ヤコブ病 (古典型) 1 例が宮崎市保健所から報告された。60 歳代の女性で進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、錐体外路症状、小脳症状、視覚異常、無動性無言状態、記憶障害、精神・知能障害、痙性対麻痺、筋強剛がみられた。

■ 全国第 26 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 18.8 で、前週比 102% とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病で、減少した主な疾患は水痘と感染性胃腸炎であった。

ヘルパンギーナの報告数は 12,601 人 (4.2) で、前週比 145% と増加した。例年同時期の約 1.5 倍である。徳島県 (9.5)、愛知県 (6.9)、大分県 (6.7) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 7 割を占めた。

手足口病の報告数は 9,437 人 (3.1) で、前週比 121% と増加した。例年同時期の約 2.3 倍である。高知県 (12.2)、大分県 (11.1)、山口県 (9.2) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 357 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 2 例、腸管出血性大腸菌感染症 86 例、パラチフス 2 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 2 例、つつが虫病 3 例、デング熱 3 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 23 例、レプトスピラ症 1 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 10 例、クリプトスポリジウム症 3 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 21 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 8 例、破傷風 3 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風疹 2 例、麻しん 14 例

■月報告対象疾患の発生動向 <6月>

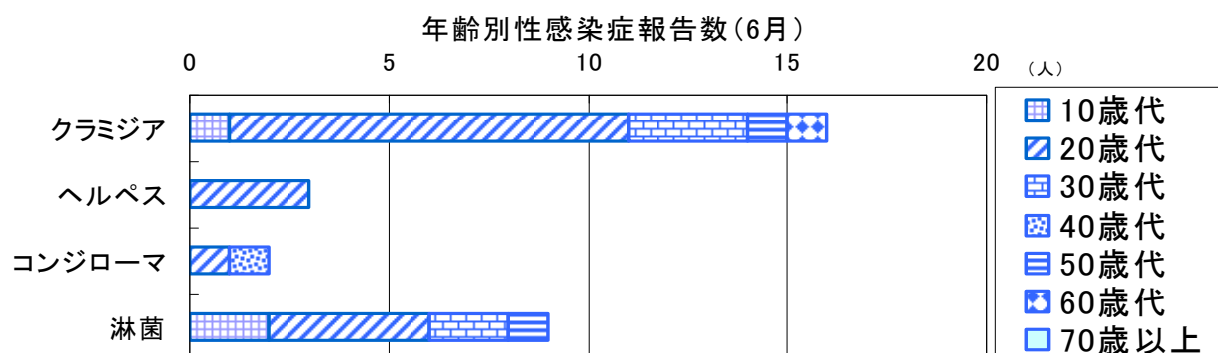
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は30人（2.3）で、前月比57%と減少した。昨年6月（3.6）の約6割と少なかった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数16人（1.2）で、前月の約7割、前年の約半数であった。日向（3.0）保健所からの報告が多く、男性7人・女性9人で、20歳代が全体の約6割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月の約2割、前年と同数であった。男性1人・女性2人で、全て20歳代であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月の約4割、前年の約半数であった。全て男性で、20歳代・40歳代がそれぞれ1人であった。
- 淋菌感染症：報告数9人（0.69）で、前月の約8割、前年の約9割であった。男性7人・女性2人で、20歳代が全体の約4割、10歳代・30歳代が全体の約2割を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：959

定点医療機関からの報告総数は4,260人（4.4）で、前月比105%であった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,287人（2.4）で前月比108%、性器ヘルペスウイルス感染症725人（0.76）で前月比106%、尖圭コンジローマ461人（0.48）で前月比104%、淋菌感染症787人（0.82）で前月比98%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は45人（6.4）で前月比110%と増加した。また昨年6月（4.9）の約1.3倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数31人（4.4）で、前月の1.3倍、前年の約1.1倍であった。宮崎市（11.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数14人（2.0）で、前月の約9割、前年の約2.8倍であった。宮崎市（12.0）保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の約7割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：464

定点医療機関からの報告総数は2,733人（5.9）で、前月比102%であった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症2,139人（4.6）で前月比108%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症560人（1.2）で前月比87%、薬剤耐性緑膿菌感染症34人（0.07）で前月比70%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第27週(07月05日～07月11日)

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	5	3		2	1						
	定点あたり	0.14	0.08	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	9	1	1	1	4		2			
	定点あたり	0.50	0.25	0.10	0.17	0.25	1.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	55	56	11	1	26	6	1	7	1	2	1
	定点あたり	1.53	1.56	1.10	0.17	6.50	2.00	0.33	1.75	1.00	0.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	274	263	64	46	14	22	46	33	8	29	1
	定点あたり	7.61	7.31	6.40	7.67	3.50	7.33	15.33	8.25	8.00	7.25	1.00
水痘	報告数	93	95	38	11	15	1	9	10	1	9	1
	定点あたり	2.58	2.64	3.80	1.83	3.75	0.33	3.00	2.50	1.00	2.25	1.00
手足口病	報告数	225	211	44	52	10	50	2	6	1	46	
	定点あたり	6.25	5.86	4.40	8.67	2.50	16.67	0.67	1.50	1.00	11.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	7	7		5	1			1			
	定点あたり	0.19	0.19	0.00	0.83	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	52	50	10	10	10	4	3	8		5	
	定点あたり	1.44	1.39	1.00	1.67	2.50	1.33	1.00	2.00	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	173	165	42	15	31	31	12	11		18	5
	定点あたり	4.81	4.58	4.20	2.50	7.75	10.33	4.00	2.75	0.00	4.50	5.00
流行性耳下腺炎	報告数	126	109	9	3	28		3		1	65	
	定点あたり	3.50	3.03	0.90	0.50	7.00	0.00	1.00	0.00	1.00	16.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	24	21		3						
	定点あたり	2.83	4.00	7.00	0.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第27週)

2類感染症	結核	103例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病	1例
	マラリア	2例	レジオネラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	7例(1)	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例(1)	後天性免疫不全症候群	3例	梅毒	4例
	破傷風	3例	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

手足口病に注意しましょう。(7月5日~7月11日)

手足口病の報告は依然として多く、警報レベルを超えています。特に日南市、日向市、都城市周辺からの報告が多く、1歳から3歳のこども達が多く感染しています。全国的にも過去10年間の同時期と比べると2000年に次いで多い報告数となっています。

手足口病は手のひらや、足の裏、口の中、お尻などに白っぽい水ぶくれができます。水ぶくれは破れることはなく、しばらくすると乾燥し消えてしまいます。熱が出ることもありますが、ふつう1~3日くらいで治まります。高熱が出たときは、まれに髄膜炎や脳炎などの重い合併症のおそれがありますのですぐに医療機関を受診しましょう。

症状は1週間ほどで回復しますが、ウイルスは主にお腹(腸管)の中で増え、1週間から1か月ほど糞便中に出て、手を介して口からうつります。特に、小さなお子さんのいる家庭では、トイレの後や外出から帰った時は、石けんでの手洗いとうがいの習慣を付けることが大切です。

また、おむつを交換した後は、手にウイルスがたくさん付いていることが多いので、石けんでしっかり手洗いをするようにしましょう。